

# 救護所における保健師活動

平成19年3月5日作成



相模原市保健指導業務連絡会議保健師部会

< 目次 >	
1 はじめに	P.1
2 救護所とは？	P.1
3 救護所～災害発生からの流れ図～	P.2
4 保健師の活動内容	P.3
1) 災害発生直後	P.3
①地震発生時における職員参集体系図	
②服装や持ち物など	
③参集時の注意	
2) 救護所の開設準備	P.4
①救護所の周辺整備	
②物品の準備	
③環境整備、各エリアの配置	
④スタッフ間の役割分担	
3) 救護所開設時の活動	P.7
① 救護活動の流れ	
② トリアージとは	
③ トリアージタグの記載方法	
④ 汚物の処理	
⑤ 休養者の観察	
⑥ 記録・報告書	
⑦ ボランティア等の活用・認知症要介護者などのケア	
4) 救護所の閉鎖	P.11
6 参考資料	P.12
1) 救護所一覧	P.13
2) 救護所で使用する様式	P.18
3) 市内医療救護関係団体一覧表	P.31
4) 救急物品一覧表	P.35
6) 応急手当の方法	P.44
7) 感染予防の方法	P.48

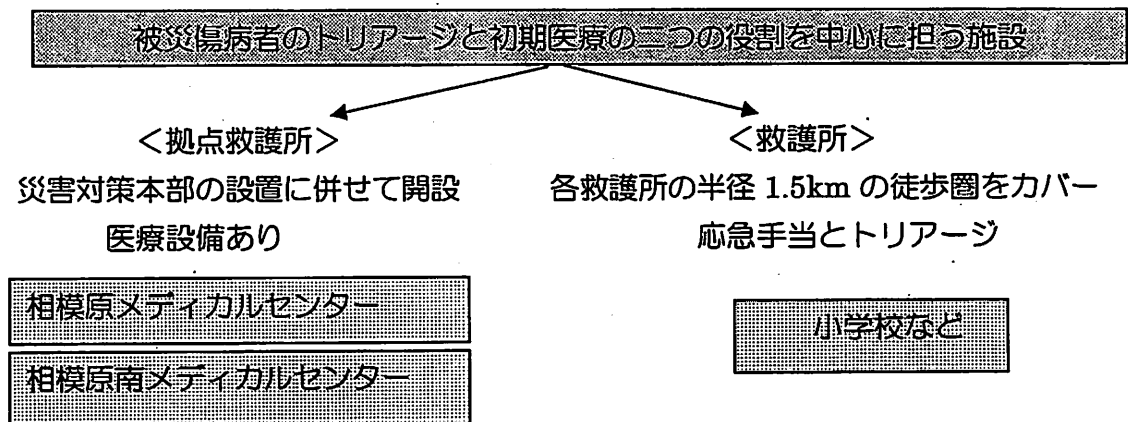
## 1 はじめに

災害は、いつどのように起こるのか、予測が出来ません。

救護所に配置された保健師が災害時にどう行動すべきか、あらかじめ考え備えることが重要と考え、本マニュアルを作成しました。

「備えあれば憂いなし！」事前に読み込み、具体的なイメージ作りにお役立て下さい。

## 2 救護所とは・・・

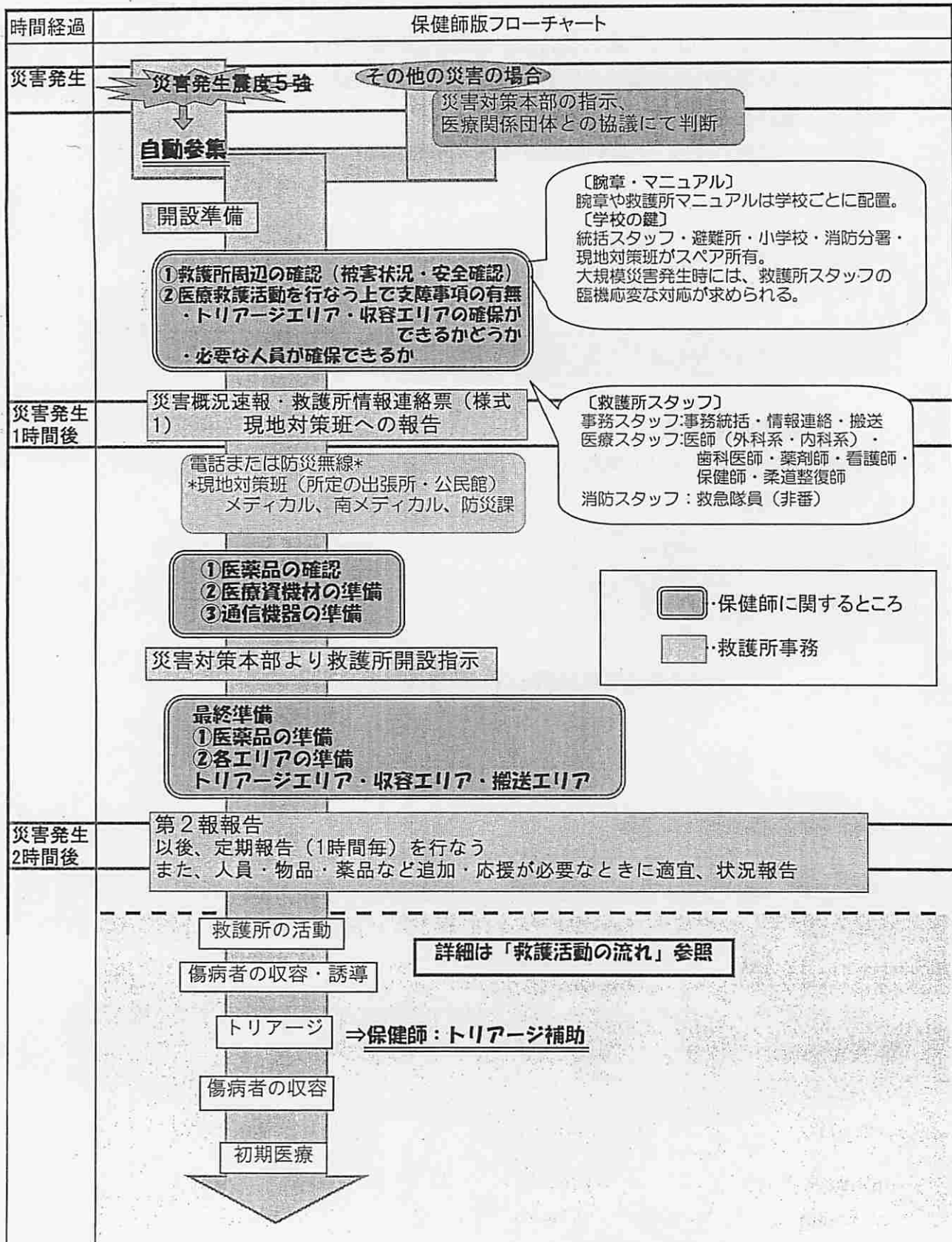


### ◎保健師に求められる役割

事務・医療・ボランティア等と役割分担し、災害直後の救護を担当します。  
市職員として、様々な状況判断が求められる場面があると予測されます！

災害マップなどを作成する過程・図上訓練や現場での防災訓練、担当する救護所の  
周辺の地理状況や生活状況を事前に把握し、災害時のイメージトレーニングをしておく  
ことが大切です！

### 3 救護所～災害発生からの流れ図～

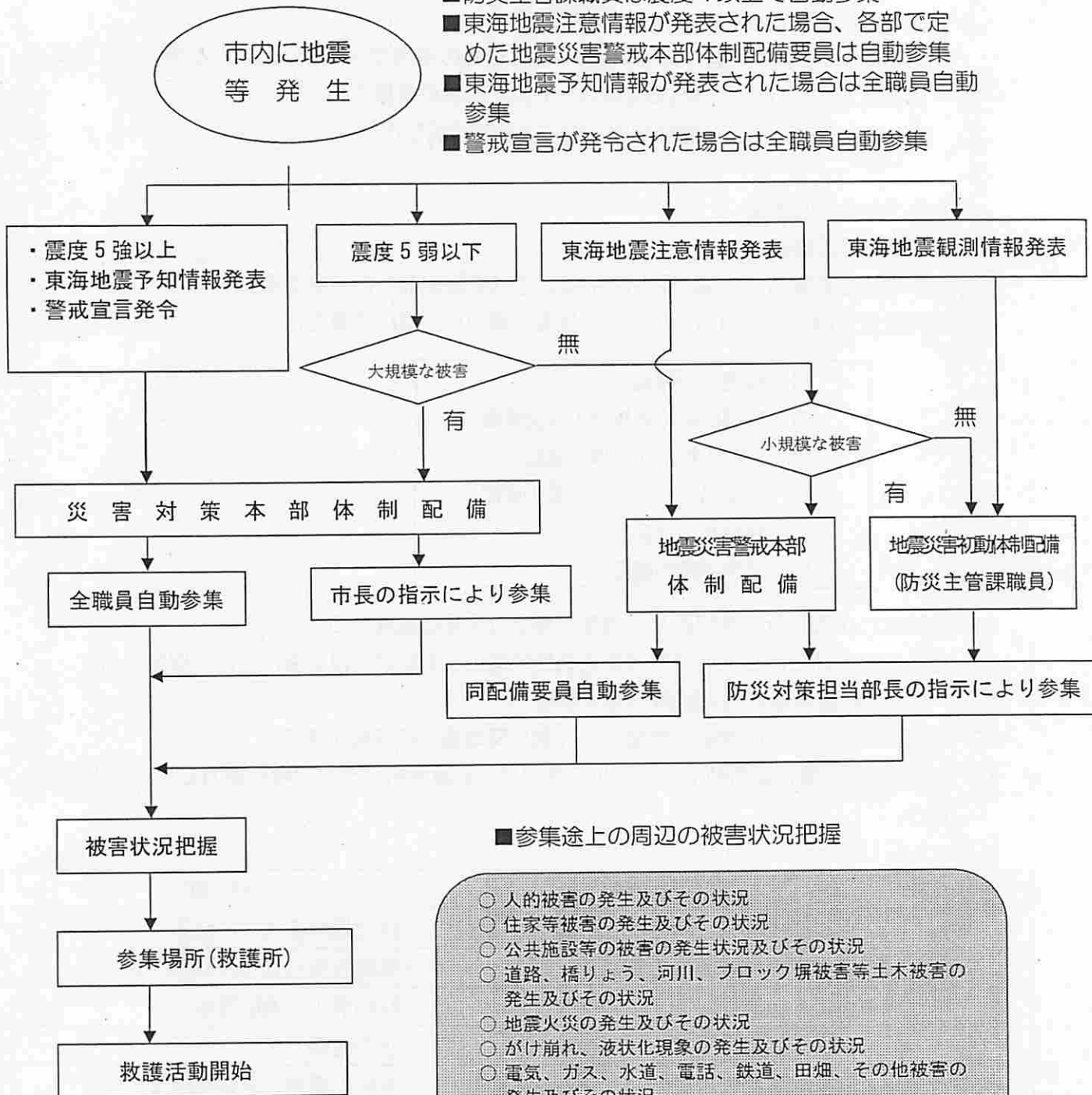


4 保健師の活動内容

1) 災害発生直後

①地震発生時における職員参集体系図

- 自己、家族の安全確保
- 地震情報の収集（ひばり放送、ラジオ、テレビ等）
- 防災主管課職員は震度 4 以上で自動参集
- 東海地震注意情報が発表された場合、各部で定めた地震災害警戒本部体制配備要員は自動参集
- 東海地震予知情報が発表された場合は全職員自動参集
- 警戒宣言が発令された場合は全職員自動参集



■ 参集途上の周辺の被害状況把握

- 人的被害の発生及びその状況
- 住家等被害の発生及びその状況
- 公共施設等の被害の発生状況及びその状況
- 道路、橋りょう、河川、ブロック塀被害等土木被害の発生及びその状況
- 地震火災の発生及びその状況
- がけ崩れ、液状化現象の発生及びその状況
- 電気、ガス、水道、電話、鉄道、田畑、その他被害の発生及びその状況
- 学校、病院、清掃施設被害の発生及びその状況
- その他社会的影響が強いと考えられる事項

## ②服装・持ち物

原則、防災服(作業服)、帽子、長靴(編上靴)とし、各自の食料、飲料水、着替え等、ヘルメットを持参する。

現地では、職種別の腕章または防水ベストを着用する。

## ③参集時の注意

- ・ 直ちにあらかじめ指定された場所に参集する。
- ・ 大規模地震における登庁時等においては、道路の使用が困難となることが予測されるため、原則として、徒歩、自転車又はオートバイにより参集する。
- ・ 参集途上において、可能な範囲で周辺の被害状況を把握する。

## 2) 救護所の開設準備

### ①救護所の周辺整備

各救護所の正面玄関前(玄関が開いているときは事務室前)に参集する。

イ. 救護所担当職員が全員揃ったら、校長等と協力し、次の作業を行う。

- |  |
|--|
| <input type="checkbox"/> 救護所の開錠        |
| <input type="checkbox"/> 目視による救護所の安全確認 |
| <input type="checkbox"/> 立ち入り禁止区域の確認   |
| <input type="checkbox"/> 医薬品・担架・毛布等の確認 |
| <input type="checkbox"/> 飲料水の確保        |
| <input type="checkbox"/> 通信手段の確認       |

ロ. 事務室に「情報所」を開設し、情報収集及び情報伝達を行う。

ハ. 応急対策活動に必要な関連情報等を現地対策班(本部または出張所)から収集する。

\*市内医療救護関係団体一覧 参照

ニ. 事務室前に「〇〇〇学校 救護所」の看板又は張り紙を掲示する。

ホ. 災害時医療救護計画活動マニュアルに基づき、救護所各スタッフ等と協力して救護所運営を行う。

### <チェックリスト>

チェック欄	内容	対応
	目視による救護所の安全確認	→代替場所の検討・判断
	建物内の危険箇所の有無	→危険箇所へ立ち入り禁止貼り紙
	火災の有無	→初期消火・消防通報
	水道の確認	→水の確保
	備蓄医薬品の確認	→本部に連絡・医薬品確保
	通信手段の確認	→代替通信手段等の検討
	避難所担当・医師会職員との連携	

② 物品の準備

- ・ 医薬品、医療資機材、トリアージタグ・担架等の準備  
(ジェラルミンケースに収納、市内24ヶ所小学校保健室ベット下。向陽小は壁面収納に)
- \* 詳細は拠点救護所、各小学校救護所物品一覧 参照
- \* 不足する場合は、近隣の救護所や拠点救護所から補給。県・業者からの補給。薬剤師と相談する。

③ 環境整備・各エリアの配置 (小学校)

- ・ 各エリアの開設場所の確保・物品の配置をする。

トリアージエリア	救護エリア周辺の部屋を確保
救護エリア	保健室
収容エリア	①中～重症者を搬送するため、一時収容する場所
	②初期医療を待つ人
	③処置が完了したが経過を見ている人、休養する人
搬送エリア	救護エリア・収容エリアの近くで車両の出入りに支障のない場所

- \* 各地区のエリア配置については図上訓練等で順次作成して行く予定とのこと。  
以下の欄を使ってメモしておきましょう。

<エリア配置メモ>

\_\_\_\_\_ 小学校

#### ④ スタッフと役割分担

##### イ 事務スタッフ

- ・ 事務統括(1名)
- ・ 情報連絡(1名)
- ・ 搬送(1名)

##### ロ 医療スタッフ

- ・ 医師(外科1) 一救護所リーダー傷病者のトリアージ、および初期医療の実施
- ・ 医師(内科1) 一傷病者のトリアージ、初期医療、死体の確認
- ・ 歯科医師(1名) 一医師の指示に従い初期医療、歯科診療実施
- ・ 薬剤師(1名) 一医薬品の調剤、傷病者の服薬指導。医薬品の管理
- ・ 看護師(2名) 一医師の指示に基づく初期医療、看護
- ・ 保健師(1拠点は5名)
  - 一医師の指示に基づく初期医療、看護。トリアージの補助、記録を行なう。
- ・ 柔道整復師(1名) 一医師の指示に基づく初期医療

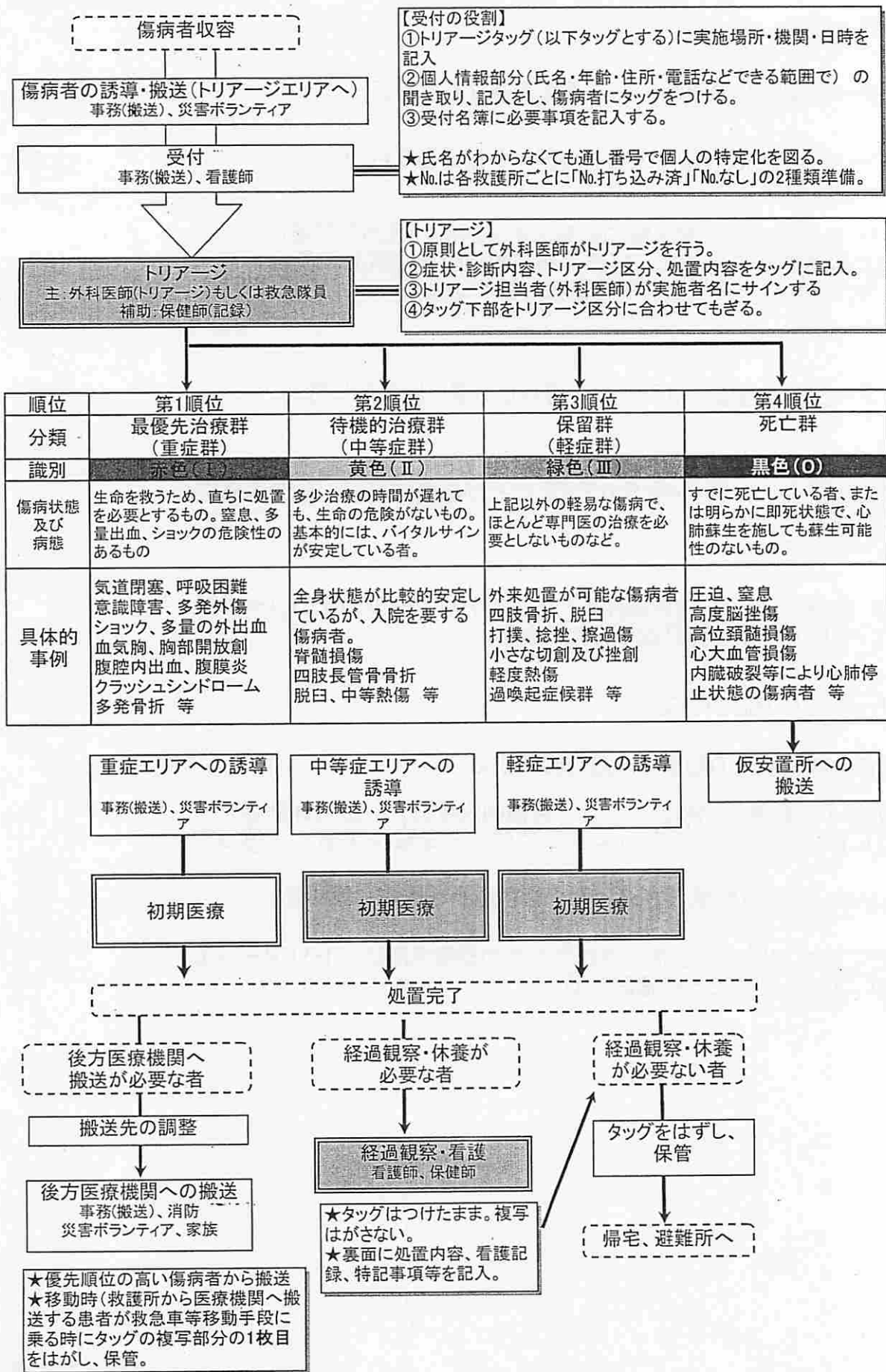
##### ハ 消防スタッフ

- ・ 救急隊員(2名) 一医師の指示に基づく初期医療。トリアージ補助を行なう。搬送スタッフと協力し、重傷者の搬送を行なう。



### 3)救護所開設時の活動

#### ① 救護活動の流れ



■ 保健師に関すること

## ②トリアージとは？

1) トリアージ実施上の原則・・・混乱を避けるために・・・

イ トリアージ実施者は通常1人のトリアージ指揮者が行う。

ロ トリアージ指揮者は災害医療の経験のある医師が適当であるとされるが、早期に現場に到着可能な、経験のある救急隊員や救命救急士・看護職員が行う。(トリアージに最も豊富な経験と知識を備え、判断力を有する者)

ハ トリアージ指揮者はトリアージに専念し治療には参加しない。

ニ 一度下ったトリアージの裁定に異議申し立てはしてはならない。トリアージ指揮者は申し立てを受け付けないことが必要である。他の医療従事者は私見をはさまない。

ホ 諸条件(患者の状況、搬送条件等)によりトリアージカテゴリーは変化するため、トリアージは繰り返し行われうる。

## 2) トリアージエリアについて

イ 傷病者、救急搬送の動線は一方方向にする。

ロ エリアはⅠ(最優先治療群) Ⅱ(待機的治療群) Ⅲ(保留群)といたように傷病者を区別できるよう3スペースを確保する。(色分け別)

※ 場所がない場合は緊急度が高い者の収容場所を優先し設ける。

ハ 明らかに死亡又は死亡と確認されたものの安置場所は、トリアージエリアから少しはなれたところに確保する。

### ③ トリアージの記載方法

- ① 1枚目:災害現場用(医療機関へ搬送する移動時にはがす) 2枚目:搬送機関用 3枚目:収容機関用
  - \* 救護所内:トリアージタグはつけたまま。複写ははがさない。
  - \* 処置終了し救護所外(帰宅するとき)へ出るときは、タグごと回収。
  - \* 家族の自家用車などを使って個人等が患者を搬送する場合には、トリアージタグ(搬送機関用)をはがさないよう、搬送者に説明する。
- ② 黒のボールペンで記入する。
- ③ トリアージの都度古いトリアージは大きく×印をつける。古いものの上に新しいタグをつける。古いタグは捨てない。
- ④ 搬送機関に患者を引き渡したとき、タグの災害現場用を切り取り番号順に保管をする。
- ⑤ 装着部位(次の順で装着) 右手首→左手首→左足首→右足首→首 ※衣類、靴などにはつけない。

搬送、治療上特に留意すべき事項等を記入。  
例:応急処置の内容、既往歴、発見の状況、今後の治療方針等で重要なこと。

実施場所ごとに「通し番号」を付ける

実施の日時・時刻は分まで記入。

「〇市消防本部〇救急隊」家族の自家用車など、具体的に記入。

実施場所を具体的に記入。

トリアージを実施した者が所属する機関名を記入し、該当箇所に○をつける

症状、診断内容を記載。死亡確認の場合、具体的に死因を記載。

区分を○で囲み、同じもぎり部分を残し切り取る。

トリアージ・タグ

相模原市

No.	氏名 (Name)	性別 (Sex)	年齢 (Age)	電話番号 (Phone)
住所 (Address)		電話番号 (Phone)		
トリアージ実施日時・時刻		トリアージ実施者氏名		
月	日	AM	時	分
搬送機関名		収容機関名		
トリアージ実施場所				
トリアージ実施機関				
<input type="checkbox"/> 消防本部 <input type="checkbox"/> 救急隊 <input type="checkbox"/> その他				
症状・診断内容				
トリアージ区分				

氏名がカタカナや電話番号しか記入できなくても可。臨機応変な対応を。不明の場合は、「氏名不詳」「推定〇歳」「〇(場所)で収容」等、具体的に記入。氏名不詳が多い場合、番号をつけることもある。

氏名はフルネーム。死亡確認の場合:「死亡確認医師:〇〇」と記入。

患者を収容した医療機関名を記入。

応急処置、治療内容、負傷箇所と負傷状況を具体的に記載。

トリアージ・タグ

相模原市

特記事項(搬送・治療上特に留意すべき事項)

.....

.....

.....

.....

.....

その後の応急処置の記録簿

0

I

II

III

#### ④ 汚物処理について

- ・ 嘔吐物の処理の仕方（資料編 参照）を救護所に掲示し、対応の仕方を周知。
- ・ ゴミ置き場についても、救護所内での処置でのものは救護所内で、収容エリアで発生したものは、廊下の端などにエリアを設けて、設置。
- ・ 汚水等の場合は必ず袋は密閉して必要であれば2重にする。  
（（避難所の保健衛生対策マニュアル(案)p6 参照）
- ・ 休養者のいるエリアでは、動ける方も多いと考えられるので、手洗い・うがいの方法などもトイレ等に掲示し、感染症の発生を防ぐ対策を行う。（資料編 参照）

#### ⑤ 休養者の観察

- ・ 嘔吐物の処理の仕方（資料編 参照）を救護所に掲示し、対応の仕方を周知。
- ・ ゴミ置き場についても、救護所内での処置でのものは救護所内で、収容エリアで発生したものは、廊下の端などにエリアを設けて、設置。
- ・ 汚水等の場合は必ず袋は密閉して必要であれば2重にする。  
（（避難所の保健衛生対策マニュアル(案)p6 参照）
- ・ 休養者のいるエリアでは、動ける方も多いと考えられるので、手洗い・うがいの方法などもトイレ等に掲示し、感染症の発生を防ぐ対策を行う。
- ・ トリアージが終了し、処置終了後、経過観察を要する傷病者、休養を要する傷病者は収容エリアに移動してもらう
- ・ トリアージタックは個人特定のためにそのまま本人につけておく
- ・ 救護所は約3日間と限られた日数のため、トリアージタックの裏面（特記事項）に簡単な経過を記載していく。

#### ⑥ ボランティアの等の活用・認知症要介護者などのケア

- ・ トリアージ対応してもらうスタッフとは別に、トリアージや医療処置待ち者、収容エリアにいる休養者の経過観察、介護度が高い認知症などの方の対応を依頼する。
- ・ 災害発生後3日間で、ボランティアが多く来ることは考えにくいですが、医療・福祉系の資格のあるボランティアが来た場合、資格などを確認の上、役割を依頼する。  
（有資格者は種別がわかるように腕章等の色や資格を表示できると、声掛けがスムーズに行なえる）
- ・ 明らかに他の収容者との生活が難しそうな場合は、一旦、別室対応とし、家族等への連絡や受け入れ施設等の確保を事務スタッフへ依頼していく

#### 4) 救護所の閉鎖手順

- ①災害対策本部により各救護所の閉鎖が決定される。
- ②決定後、災害対策本部が救護本部へ連絡し、救護本部から各救護所へ閉鎖連絡される。
- ③閉鎖連絡を受けた救護所スタッフは、ボランティア、学校関係者等とともに速やかに所内を片付ける（医薬品、医療資機材、通信機器、各エリアの片づけ）。原則、救護所開設前の状態に戻す。
- ④片づけ終了後、救護所スタッフが救護本部へ連絡する（閉鎖後の書面報告は不要）。
- ⑤閉鎖された救護所のスタッフは、災害対策本部と救護本部の調整によりその後の動きが決定される。閉鎖時、救護本部からの指示に従う。（帰宅、職場へ直行、他救護所への派遣、等）

## 6 參考資料

1) 救護所一覧

○拠点救護所 (2箇所)

名称		担当	現地対策班
相模原 メディカルセンター (拠点救護所)	事務 スタッフ	事務統括	中央公民館
		情報連絡	
		搬送	
	医療 スタッフ	保健師	
		保健師	
		保健師	
		保健師	
		保健師	
	消防 スタッフ	消防救急隊員	
相模原南 メディカルセンター (拠点救護所)	事務 スタッフ	事務統括	大野南公民館
		情報連絡	
		搬送	
	医療 スタッフ	保健師	
		保健師	
		保健師	
		保健師	
		保健師	
	消防 スタッフ	消防救急隊員	

○救護所 (22箇所)

名称		担当	現地対策班
向陽小学校	事務 スタッフ	事務統括	小山公民館
		情報連絡	
		搬送	
	医療 スタッフ	保健師	
消防 スタッフ	消防救急隊員		
清新小学校	事務 スタッフ	事務統括	清新公民館
		情報連絡	
		搬送	
	医療 スタッフ	保健師	
消防 スタッフ	消防救急隊員		

横山小学校	事務 スタッフ	事務統括	横山 公民館
		情報連絡	
		搬送	
	医療 スタッフ	保健師	
	消防 スタッフ	消防救急隊員	
中央小学校	事務 スタッフ	事務統括	中央 公民館
		情報連絡	
		搬送	
	医療 スタッフ	保健師	
	消防 スタッフ	消防救急隊員	
星が丘小学校	事務 スタッフ	事務統括	星が丘 公民館
		情報連絡	
		搬送	
	医療 スタッフ	保健師	
	消防 スタッフ	消防救急隊員	
光が丘小学校	事務 スタッフ	事務統括	光が丘 公民館
		情報連絡	
		搬送	
	医療 スタッフ	保健師	
	消防 スタッフ	消防救急隊員	
旭小学校	事務 スタッフ	事務統括	橋本 出張所
		情報連絡	
		搬送	
	医療 スタッフ	保健師	
	消防 スタッフ	消防救急隊員	



相原小学校	事務 スタッフ	事務統括	橋 本 出張所
		情報連絡	
		搬送	
	医療 スタッフ	保健師	
消防 スタッフ	消防救急隊員		
共和小学校	事務 スタッフ	事務統括	大野北 出張所
		情報連絡	
		搬送	
	医療 スタッフ	保健師	
消防 スタッフ	消防救急隊員		
淵野辺小学校	事務 スタッフ	事務統括	大野中出張所
		情報連絡	
		搬送	
	医療 スタッフ	保健師	
消防 スタッフ	消防救急隊員		
大沼小学校	事務スタッフ	事務統括	大野中出張所
		情報連絡	
		搬送	
	医療 スタッフ	保健師	
消防 スタッフ	消防救急隊員		
大野小学校	事務 スタッフ	事務統括	大野南 出張所
		情報連絡	
		搬送	
	医療 スタッフ	保健師	
消防 スタッフ	消防救急隊員		
谷口台小学校	事務 スタッフ	事務統括	大野南 出張所
		情報連絡	
		搬送	

谷口台小学校	医療スタッフ	保健師	大野南出張所
	消防スタッフ	消防救急隊員	
南大野小学校	事務スタッフ	事務統括	大野南出張所
		情報連絡	
		搬送	
	医療スタッフ	保健師	
消防スタッフ	消防救急隊員		
大沢小学校	事務スタッフ	事務統括	大沢出張所
		情報連絡	
		搬送	
	医療スタッフ	保健師	
消防スタッフ	消防救急隊員		
田名小学校	事務スタッフ	事務統括	田名出張所
		情報連絡	
		搬送	
	医療スタッフ	保健師	
消防スタッフ	消防救急隊員		
上溝小学校	事務スタッフ	事務統括	上溝出張所
		情報連絡	
		搬送	
	医療スタッフ	保健師	
消防スタッフ	消防救急隊員		
麻溝小学校	事務スタッフ	事務統括	麻溝出張所
		情報連絡	
		搬送	
	医療スタッフ	保健師	
消防スタッフ	消防救急隊員		

新磯小学校	事務 スタッフ	事務統括	新磯 出張所
		情報連絡	
		搬送	
	医療 スタッフ	保健師	
	消防スタッフ	消防救急隊員	
桜台小学校	事務 スタッフ	事務統括	相模台 出張所
		情報連絡	
		搬送	
	医療 スタッフ	保健師	
	消防スタッフ	消防救急隊員	
相模台小学校	事務 スタッフ	事務統括	相模台 出張所
		情報連絡	
		搬送	
	医療 スタッフ	保健師	
	消防スタッフ	消防救急隊員	
相武台小学校	事務 スタッフ	事務統括	相武台 出張所
		情報連絡	
		搬送	
	医療 スタッフ	保健師	
	消防スタッフ	消防救急隊員	
東林小学校	事務 スタッフ	事務統括	東林 出張所
		情報連絡	
		搬送	
	医療 スタッフ	保健師	
	消防スタッフ	消防救急隊員	
上鶴間小学校	事務 スタッフ	事務統括	東林 出張所
		情報連絡	
		搬送	
	医療 スタッフ	保健師	
	消防スタッフ	消防救急隊員	

## 2) 救護所での報告と使用する様式

## ＜報告事務要領＞

報告者	報告先	事務要領
救護所	現地対策班	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 救護所担当職員の責任者は、救護所に到着後、救護所担当職員の参集状況等を「救護所情報連絡票」(様式救-1)に、記入する。</li> <li>2. 救護所担当職員の責任者が到着しないときは、職員のうち、次順位の職責者が取りまとめを行う。</li> <li>3. 「救護所情報連絡票」(様式救-1)「第1報」を学校の電話又は携帯電話を使用して所管する現地対策班へ伝達する。</li> <li>4. 「第2報」以降を学校のFAXを使用して所管する現地対策班へ伝達する。</li> <li>5. 学校のFAXが使用できないときは、所管する現地対策班へ電話、伝令等で報告する。</li> <li>6. 「救護所情報連絡票」(様式救-1)の原本は、後日、本部事務局(防災対策課)へ提出又は送付する。</li> </ol>

- 救護所チェックリスト
- 災害概況速報(第 報) (様式災-1)
- 救護所 情報連絡票(第 報) (様式救-1)

## 救護所チェックリスト

- 目視による救護所の安全確認
- 建物内の危険な箇所の有無の確認
  - ⇒  危険な箇所があった場合に立入禁止の張り紙
- 火災の有無の確認
  - ⇒  消火器による初期消火が困難な場合は消防に通報
- 水道の確認
  - ⇒  使用不可の場合、救護所状況連絡票に記載し報告。
- 備蓄医薬品の確認
- 通信手段の確認（事務室、使用できない場合は職員室）
- 避難所担当職員との連携（救護所）
- 医師会職員との連携（拠点救護所）

救護所に参集した際に、最初に救護所の安全について確認し、利用可能か判断するために使用する。

この様式そのものは報告不要。

保管しておき、後日（救護所閉鎖後）回収する。

災害概況速報（第 報）

（様式災—1）

一般・緊急・重要（○で囲む）

平成 年 月 日 ( ) 午前・午後 時 分 <input type="checkbox"/> 発信 <input type="checkbox"/> 受信									
伝達手段 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 無線 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 口頭 <input type="checkbox"/> その他			情報区分 <input type="checkbox"/> 参集途上 <input type="checkbox"/> 各課・機関等						
発信者 課・班		取扱者職・氏名 電話 ( )							
受信者 課・班・部		取扱者職・氏名 電話 ( )							
災害の概況（情報源は、住民、自主防災組織、消防、警察、その他、現認等を明記する）									
住所（町丁目）又は施設名称	被害の有無	被害の概況	情報源	確認の有無					
	あり なし			確認 未確認					
	あり なし			確認 未確認					
	あり なし			確認 未確認					
	あり なし			確認 未確認					
被害の状況									
死傷者	死者	人	不明	人	住家	全壊	棟	一部損壊	棟
	負傷者	人	言十	人		半壊	棟	床上浸水	棟
(火災の発生の有無及び状況、道路・橋りょうの状況、電気・ガス・水道の状況等)									
応急対策の状況（応急措置、自主防災組織・市民の動向、警察官・県その他防災関係機関との連絡状況等）									

用紙が不足する場合等は別紙に記入すること。又必要に応じて図面を添付すること。

重要…公的被害で住民に影響を及ぼすもの 緊急…人的被害が予想されるもの 一般…重要・緊急以外のもの

救護所 情報連絡票 (第 報)

(様式救—1)

一般・緊急・重要 (○で囲む)

平成 年 月 日 ( ) 午前・午後 時 分 <input type="checkbox"/> 発信 <input type="checkbox"/> 受信																
伝達手段 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 無線 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 口頭、 <input type="checkbox"/> その他 ( )																
発信者 救護所						取扱者職・氏名 電話 ( )										
受信者 課班・部・本部						取扱者職・氏名										
参集状況 救護所担当職員(事務人スタッフ) 及び医療スタッフ(保健師)の	到着	到着時間	氏名	住所区分		主な交通手段										
	1	時 分		市内	市外	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> バイク <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 自家車										
	2	時 分		市内	市外	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> バイク <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 自家車										
	3	時 分		市内	市外	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> バイク <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 自家車										
	4	時 分		市内	市外	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> バイク <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 自家車										
医師等の参集状況																
救護所施設の被害状況 あり なし (○で囲む)				被害ありの場合 その箇所及び状況												
救護所の開設状況・場所 年 月 日 午前・午後 時 分 <input type="checkbox"/> 保健室 <input type="checkbox"/> 教室 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 開設																
救護所利用状況 (初動時は男女別概数のみ速報)																
区分	男	女	合計	内 訳	死亡		重症		中等症		軽症		移送		その他	
人数	人	人	人		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
特記事項																
措 置																

## 第2節 医療救護本部で使用する様式

- 医療機関の被災状況等について (様式10)
- 地域救護病院等 被災等状況等報告(第1報) (別紙様式1)
- 医療機関の被災状況等について (様式12)
- 市町村 救護所開設状況報告(第 報) (様式15)
- 政令市 医療救護活動状況報告(第 報) (様式17)
- 医療救護班 派遣要請書 (様式18)
- 診療可能機関報告(第 報) (様式22)
- 入院患者名簿(第 報) (様式23)

※以上は、すべて県様式。





地域救護病院等 被災等状況等報告（第1報）

次の医療機関の被災・活動状況を報告します。（該当個所に○印等）

病 院 名			
連絡先及び連絡方法	所属 電話 ( )	氏名 FAX ( )	
報 告 日 時	平成 年 月 日	午前・午後	時 分

区 分	項 目	被 災 状 況	備 考
建 施 物 設	全 施 設	①影響なし ②使用不能	
	電 力	①影響なし ②使用不能	
	自家発電装置	①影響なし ②使用不能	
	水 道	①影響なし ②使用不能	
	ガ ス	①影響なし ②使用不能	
	空 調	①影響なし ②使用不能	
	危 険 物	①影響なし ②危険状態	
通 信 設 備	電 話	①影響なし ②使用不能	
	F A X	①影響なし ②使用不能	
	インターネット	①影響なし ②使用不能 ③設置なし	
	広域災害・救急医療 情報システム	①影響なし ②使用不能 ③設置なし	
	M C A 無 線	①影響なし ②使用不能 ③設置なし	
	アマチュア無線	①影響なし ②使用不能 ③設置なし	
	市町村防災行政無線	①影響なし ②使用不能 ③設置なし	
医 療 機 能	手 術	①対応可 ②不可 ③設備なし	
	検 査	①対応可 ②不可 ③設備なし	
	C T	①対応可 ②不可 ③設備なし	
	人 工 透 析	①対応可 ②不可 ③設備なし	
入院患者等の安否	①被害なし ②あり（死亡・重傷者 約 名） 避難先（ ）		
職員の配備状況 （非常召集体制）	事前計画の 割程度配備中		
救護班の編成状況	①出動可能（事前計画 班中 班可能） ②出動不可		

あて先	災害対策本部 (医療救護本部経由)
	F A X 045-241-7922

発信元	市災害対策本部
電話	( ) 直通・内線 ( )
県庁内線	( )
記入者 所属・氏名	
調査日時	年 月 日 午前・午後 時 分現在
発信日時	年 月 日 午前・午後 時 分発信

医療機関の被災状況等について (報告)

項目	内容
医療機関	1 医療機関名 2 所在地
対応可能な医療活動	1 診療科 2 病床の状況 3 救護班の派遣 4 その他
負傷者の受入状況	1 受入数 2 負傷者の傾向
医薬品の確保状況	1 備蓄残量 2 不足品目・数量
その他	1 応援要請等

市町村 救護所開設状況報告（第 報）

あて先	災害対策本部 (医療救護本部経由)
	FAX 045-241-7922

発信元	市災害対策本部
電話	( ) 直通・内線 ( )
県庁内線	( )
記入者 所属・氏名	
調査日時	年 月 日 午前・午後 時 分現在
発信日時	年 月 日 午前・午後 時 分発信

	救護所名	設置場所 (連絡方法)	負傷者の受入状況	診療実施機関
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

前回報告件数	件
今回報告件数	件
全救護所数	件

政令市 医療救護活動状況報告（第 報）

あて先	災害対策本部 (医療救護本部経由)
	FAX 045-241-7922

発信元	市災害対策本部
電話	( ) 直通・内線 ( )
県庁内線	( )
記入者 所属・氏名	
調査日時	年 月 日 午前・午後 時 分現在
発信日時	年 月 日 午前・午後 時 分発信

これまでに把握した管内の医療救護活動の状況について報告します。

報告件名	内 容	
活動の概要		
医療救護の実施状況	診療所名 受入数 傾向など	
	医療機関名 受入数 傾向など	
その他応援要請等		

医療救護班 派遣要請書

神奈川県災害対策本部長 殿  
(医療救護本部経由)

(市・町・村) 災害対策本部長

次により、医療救護班の出動を要請します。

要 請 日 時	年 月 日 ( 曜日) 時 分
派 遣 要 請 数	班
派 遣 場 所	
現 地 連 絡 先	責任者名 ( ) 電 話 ( ) F A X ( )
派 遣 期 間	年 月 日 から 年 月 日 まで ( 日間程度)
特 記 事 項	現在の被災状況 家屋の倒壊 全・半壊 棟 火災発生 有・無 死傷者等発生 約 人
	現地までの交通機関
	その他特記事項
要請先担当者 所属・氏名	

発 信 元 所 属 ・ 氏 名	
電 話	( ) 直通・内線 ( )
F A X 防 災 無 線	( )

診療可能機関報告 (第 報)

あて先	災害対策本部 (医療救護本部経由)
	F A X 045-241-7922

発信元	市災害対策本部
電話	( ) 直通・内線 ( )
県庁内線	( )
記入者 所属・氏名	
調査日時	年 月 日 午前・午後 時 分現在
発信日時	年 月 日 午前・午後 時 分発信

医療機関名	住 所	診療可能科名

入院患者名簿（第 報）

あて先	災害対策本部 (医療救護本部経由)
	FAX 045-241-7922

発信元	市災害対策本部
電話	( ) 直通・内線 ( )
県庁内線	( )
記入者 所属・氏名	
調査日時	年 月 日 午前・午後 時 分現在
発信日時	年 月 日 午前・午後 時 分発信

病院名
-----

災害による入院患者報告総数 名  
 (前回報告 名 新規報告 名 転送報告 名)

区分	患者氏名	年齢	性別	住 所	備 考
新規 転送					
新規 転送					
新規 転送					
新規 転送					
新規 転送					
新規 転送					

備考欄は新規の場合は

搬送手段、転送の場合は搬送手段及び搬送先等を記入



## 3) 市内医療救護関係団体一覧

## 1 災害時医療救護本部構成団体

名称	住所	電話	ファクス	その他
相模原市地域医療課	中央2-11-15	769-9230	759-4395	
(社)相模原市医師会	富士見6-1-1	755-3311	758-9440	
(社)相模原歯科医師会	富士見6-1-1	756-1501	755-3289	
(社)相模原市薬剤師会	富士見6-1-1	756-1502	758-9615	
(社)相模原地区病院協会	富士見6-1-1	755-0531	755-0532	
(社)看護協会相模原支部	富士見6-1-1	776-2480	776-2464	
(社)柔道整復師会相模支部	上九沢347-8	761-1625	761-1625	

## 2 市防災主管課

名称	住所	電話	ファクス	その他
総務部 防災対策課	中央2-11-15	769-8208	769-8326	内線2202 2203
消防本部 防災課	中央2-2-15	751-9128 -9130	751-9112	

## 3 消防機関一覧

名称	住所	電話
消防本部	中央2-2-15	042-751-9111
相模原消防署	中央2-2-15	042-751-0119
田名分署	田名4841-3	042-761-0119
淵野辺分署	淵野辺本町3-1-8	042-758-0119
緑が丘分署	緑が丘1-32-25	042-759-0119
上溝分署	上溝2163-9	042-762-0119
南消防署	相模大野5-34-1	042-744-0119
麻溝台分署	麻溝台8-38-20	042-745-0119
相陽分署	磯部1460-14	046-253-0119
東林分署	東林間7-35-25	042-742-0119
大沢分署	古淵3-15-8	042-756-0119
相武台分署	新磯野2-51-1	042-747-0119
上鶴間分署	相模大野7-40-4	042-743-0119
北消防署	橋本4-16-6	042-774-0119
大沼分署	大島1745-1	042-763-0119
相原分署	相原4-14-9	042-773-0119

## 4 病院一覧

名称	住所	電話	77777	備考
梨本病院	光が丘1-8-7	753-2301	758-3179	救急病院
相模が丘病院	下溝4378	778-0200	778-3876	
相模原友愛温泉病院	麻溝台697	778-1181	778-2670	
新相模原病院	下九沢54-2	773-3211	774-0069	
相愛病院	当麻1632	778-2111	778-3533	
相和病院	大島1752	761-2331	761-2947	
田名病院	田名塩田3-14-36	778-3080	778-5377	
中村病院	上溝6-18-39	761-3721	761-5568	
相模原協同病院	橋本2-8-18	772-4291	771-6709	救急病院 災害拠点病院
湘北病院	二本松1-37-9	769-5351	762-5352	
相原病院	相原5-12-5	772-3100	774-7013	
相模原中央病院	富士見6-4-20	754-2211	758-7421	救急病院
相模原伊藤病院	相模原4-11-4	755-2133	755-2136	救急病院
総合相模更生病院	小山3429	752-1808	752-1559	救急病院
澗野辺総合病院	澗野辺3-2-8	754-2222	754-0334	救急病院
相模原南病院	大野台7-10-7	759-3911	758-0140	
社会保険相模野病院	澗野辺1-2-30	752-2025	754-9543	救急病院
黒河内病院	豊町17-36	742-0211	743-8332	救急病院
さがみ生協病院	相模大野6-2-11	743-3261	743-3764	
相模病院	若松1-12-25	743-0311	742-9056	
慈誠会病院	相模大野6-19-26	742-3636	743-6893	
相模原療育園	若松1-21-9	749-6316	749-6356	
東芝林間病院	上鶴間7-9-1	742-3577	742-6121	救急病院
森下記念病院	東林間4-2-18	742-5055	747-2922	救急病院
丘整形外科病院	新磯野2-7-10	748-1201	749-9645	救急病院
小松会病院	新磯野2337	744-6731	744-0682	
相模原病院	桜台18-1	742-8311	742-5314	救急病院
北里大学病院	北里1-15-1	778-8111	778-9371	救命救急センター 災害拠点病院
北里大学東病院	麻溝台2-1-1	748-9111	748-9119	精神科救急

相模原地区病院協会会員名簿から

## 5 人工腎臓装置保有医療機関

名称	住所	電話	ファクス	その他
相模原協同病院	橋本2-8-18	772-4291	771-6709	災害拠点病院
東芝林間病院	上鶴間7-9-1	742-3577	742-6121	
淵野辺総合病院	淵野辺3-2-8	754-2222	757-4170	
森下記念病院	東林間4-2-18	742-5055	747-2922	
北里大学病院	北里1-15-1	778-8111	778-9371	災害拠点病院
相原病院	相原5-12-5	772-3100	774-7013	
橋本クリニック	橋本3-21-5	773-1571	779-2668	
相模原クリニック	相模原7-5-5	758-6521	754-5807	
セントラルクリニック	中央5-8-6	758-3888	753-5783	
さがみ循環器クリニック	相南4-21-15	746-2211	749-9383	
阪クリニック	古淵2-17-3	776-7709	776-7871	
さがみ松が枝クリック	松が枝町23-14	767-7887	767-7886	
橋本みなみ内科	西橋本2-1-8	700-3711	773-3731	

神奈川県災害時医療関係機関連絡先一覧（平成15年8月）から抜粋  
（神奈川県衛生部保健予防課調べ）

## 6 第二種感染症指定医療機関

名称	住所	電話	ファクス	その他
相模原協同病院	橋本2-8-18	772-4291	771-6709	災害拠点病院

## 7 多数遺体収容場所一覧

名称	住所	電話
総合体育館	麻溝台2284-1	748-1781
北総合体育館	下九沢2368-1	763-7711

## 8 警察署一覧

名称	住所	電話
相模原警察署	富士見1-1-1	754-0110
相模原南警察署	古淵6-29-2	749-0110

第2節 県内医療救護関係団体一覧

1 神奈川県災害時医療救護担当

名称	住所	電話	FAX	県防災無線
医療整備課分室	横浜市中区富士見町3-	045-241-7333	045-241-7922	2658

2 近隣市町災害医療主管課

市町名	担当部局	担当課	電話	FAX	県防災無線
横浜市	衛生局医療政策部	医療政策課	045-671-3740	045-663-7327	
川崎市	健康福祉局保健医療部	地域医療課	044-200-2428	044-200-3934	2726
厚木市	健康福祉部	医療政策課	046-225-2174	046-224-4599	
大和市	保健福祉部	医療健康課	046-260-5661	046-262-0999	
海老名市	保健福祉部	健康づくり課	046-235-7880	046-235-7980	
座間市	保健福祉部	市民健康課	046-252-7213	046-252-7043	3685
綾瀬市	保健福祉部	保険健康課 健康予防担当	0467-77-1133	0467-77-1134	
城山町	民生環境部	保健推進課 保健予防班	042-782-1111 内線511	042-783-1720	
津久井町		健康福祉課 保健係	042-784-1141 内線417	042-780-7670	8631
相模湖町	民生部	健康福祉課	0426-84-3211 内線253	0426-84-3618	8646
藤野町	民生部	健康福祉課	0426-87-2111	0426-87-2811	
愛川町	民生部	健康づくり課	046-285-2111 内線261	046-286-5021	

神奈川県災害時医療関係機関連絡先一覧（平成15年8月）から抜粋

7 血液の供給体制

名称	住所	電話
神奈川県湘南赤十字センター	厚木市愛甲1837	046-228-9800

蘇生セット【緑】

No.	品名	仕様規格	単位	数量	滅菌	入替	
診断用具							
1	喉頭鏡	マッキントッシュ 電池付 柄付 大・中・小・極小 各1	組	2		電2	
2	携帯用血圧計	メーター式(ケース入)	個	2		4	
3	聴診器	リットマン型(ケース入)	個	2		4	
吸引用具							
4	手動式人工蘇生器	レサシフォルディング	組	2			
5	レスキューチューブ	蘇生チューブ(口対口)	個	2	○	2	
6	足踏式吸引器	アンビュー	個	2			
7	サクシオンコネクター	プラスチック 端部3mm・5mm 各2本	個	4	○	6	
8	サクシオンカテーテル	Fr10・16 各2本	本	4	○	2	
気管内挿管用具							
9	気管内チューブ	カフ付 チューブコネクター付 No.5・6 各1 No7・8各2	個	6	○	2	
10	スタイルット	大・小(各2)	本	4	○		
11	開口器	エスマルビ エボナイト製	個	2	○		
12	舌鉗子	コラン・ステンレス	本	1	○		
13	舌圧子	消毒容器 5枚入 板状	組	1	○		
14	鼻鏡	ハルトマン氏・中	本	1	○		
15	ハイトブロック	大・小(各2)	個	4	○	6	
16	鼻用エアウェイ	外径6・7・8・9mm(各1本)	個	4	○	2	
気管切開用具							
17	気管切開カニューレ	ダブルカフ付・No.7・7.5・8・9(各1本)	個	4	○	2	
18	気管切開セット	止血鉗子 コッヘル氏・ステンレス・14cm	4 本	組	2	○	4
		単鋭鉤 17cm・ステンレス	1 組				
		ピンセット 有鉤・13cm・ステンレス	2 本				
		反剪刀 14cm	1 本				
		扁平鉤 170×5×17mm・ステンレス	1 組				
		メス 尖刃・No.11	3 本				
		持針器 マッチュー・16cm	1 本				
		糸付縫合針 シルクブレッド	1 打				
ケース(トレイ付) 24×18×4cm	1 個						
医薬品 衛生材料							
19	キシロカインゼリー	チューブ入 30ml	個	1		2	
20	マキロン	ポリ容器入 70ml	個	1		4	
21	ヒビテン液	5% 500ml	本	1		2	
22	滅菌ガーゼ	ティスポ 尺角 5枚パック入	包	30	○	6	
23	絆創膏	1.3cm 5cm 各5 (紙絆)	個	10		2	
24	包帯	4裂 反巻	本	2		6	
25	手術用手袋	No.6.5・7・7.5 各2双	双	6	○	2	
26	止血鉗子	ペアン氏 14cm SS	本	2	○		
27	ピンセット	無鉤 23cmSS	本	2	○		
28	雑剪刀	24cmSS	本	1			
29	懐中電灯	単一2個型 電池別包装	本	2		電2	
30	バルーンカテーテル	Fr8・18・20 各2本	本	6	○	2	
31	ネラトンカテーテル	Fr4・6・8 各2本 ティスポ	本	6	○	2	
32	チーマンカテーテル	Fr12.14 各1本 スタイルット付	本	2	○	2	
33	カフポンプ	30ml シリンジ	本	2			
34	人工蘇生器	エルダーレサシテーター 箱外収納	個	1	充填	点検2	
35	酸素ボンベ	1500リットル 箱外収納	個	1	充填	2	
36	救急箱	63×43×22cmアルミ(サンコー製)	箱	1			

創傷セット【青】

No.	品名	仕様規格	単位	数量	滅菌	入替	
1	縫合止血セット (ケース入)	止血鉗子 コッヘル氏 14cm SS	4本	組	5	○	4
		止血鉗子 ペアン氏 14cm SS	4本				
		持針器 マッチュー 16cm SS	1本				
		ピンセット 有鉤 13cm SS	2本				
		ピンセット 無鉤 13cm SS	2本				
		直剪刀 14cmSS	1本				
		反剪刀 14cmSS	1本				
		消息子 18cmSS	1本				
		メス 円刀 No.10 尖刀 No.11 各2	4本				
		縫合針 (角針ハネ孔各1) 強・弱弯1・3・5号	6袋				
		縫合針 丸針腸用1・2・3号 各1袋	3袋				
		縫合糸 シルクプレート No.3・4・6号 各1	3袋				
		扁平鉤 10mm×25mm×210mm	1組				
		シリコンチューブ 径3mm	1本				
円のみ鉗子直18cm 曲18cm 各1本	2本						
ケース(トレー) 24×18×4cm	1個						
セット外医療用具医薬品							
2	止血帯	アモム製 エスマルビ	本	2	○	2	
3	雑剪刀	24cmSS	本	1			
4	手術用手袋	No.7・7.5 各5双	双	10	○	2	
5	ヒビテン液	5% 500ml	本	1		2	
6	カルボカイン	1% 10ml 10A	箱	2		2	
7	スポンセル	10×7cm 5枚入	箱	2		2	
8	注射器	デイスポ 5ml 針 22G付き	本	5	○	2	
9	注射器	デイスポ 10ml 針 22G付き	本	10	○	2	
衛生材料							
0	滅菌ガーゼ	デイスポ 尺角 5枚パック入	包	60	○	6	
1	三角巾	105×105×150cm	枚	20	○	6	
2	網包帯	プレスネット 大・中・小 (4・3・2号) 各1箱	箱	3		6	
3	弾性包帯	巾7.5m・10×4.5m 6個入 各1箱	箱	2		4	
4	絆創膏	1/2インチ 24個入 (紙絆)	箱	1		2	
5	救急絆	フリーサイズ 55mm×2.5m 2枚入り	箱	1		4	
6	油紙	265mm×385mm 100枚入	箱	2		2	
7	タオル	白色 (無地)	枚	5	○	6	
8	手術衣セット	デイスポ 紙製 (マスク・帽子・衣 3種組)	組	5	○	6	
9	救急箱	63×43×22cmアルミ(サンコー製)	箱	1			

## 熱傷セット【赤】

No.	品名	仕様規格	単位	数量	滅菌	入替
衛生材料						
1	滅菌ガーゼ	ティスポ 尺角 5枚パック入	包	18	○	6
2	タオル	白色(無地)	枚	5	○	6
3	シート	白色(無地)	枚	5	○	2
4	網包帯	プレスネット 大・中・小 4・3・2号 1箱	箱	3		6
5	三角巾	105×105×150cm	枚	20	○	6
6	包帯	3裂 反巻	本	5		6
7	絆創膏	1/2インチ 24個入(紙絆)	箱	1		2
医療用具						
8	手術用手袋	No.7・7.5 各10双	双	20	○	2
9	ピンセット	無鉤 18cm SS	本	5	○	
10	軟膏ベラ	プラスチック	本	2		
11	雑剪刀	24cm	本	2		
医薬品						
12	ワセリン	500g	個	2		2
13	ヒビテン液	5% 500ml	本	1		2
14	ソフラチュール	10×7cm・10枚	枚	5		2
15	生理食塩水	500ml ポリ容器入り 開栓式	本	2		4
16	救急箱	63×43×22cmアルミ(サンコー製)	箱	1		

## 骨折セット 1号【黄】

No.	品名	仕様規格	単位	数量	滅菌	入替
固定用具						
1	マジックギブス	四肢用(大・小) 脊椎用 各1 3個組	組	1		4
2	ポンプ	陰圧マジックギブス用	本	1		
3	救急箱	63×43×22cmアルミ(サンコー製)	箱	1		

## 骨折セット 2号【黄】

骨折セット 1号と同一内容

## 骨折セット3号【黄】

No.	品名	仕様規格	単位	数量	滅菌	入替
固定用具						
1	針金副子	スポンジ付 大・中 各2	本	4		4
2	アルフェンス	2・8・10号 各2箱	箱	6		6
3	バスタバンド	大・小 各2	箱	4		4
4	弾性包帯	巾 5cm 7.5cm 長さ 4.5cm 各2	箱	4		4
5	弾性包帯	巾 10cm 17.5cm 長さ 4.5cm 各1	箱	2		4
6	包帯	反巻 6裂6本 4裂6本	本	12		6
衛生材料						
7	三角巾	105×105×150cm	枚	20	○	6
8	絆創膏	1/2インチ(布絆) 24入	箱	1		2
9	絆創膏	2インチ(布絆) 6入	箱	1		2
10	チュービクリップ	足用・手用 各1箱	箱	2		4
11	雑剪刀	24cmSS	本	2		
12	金切ハサミ	アルフェンス等切断用	本	1		
13	救急箱	63×43×22cmアルミ(サンコー製)	箱	1		

輸血輸液セット1号【黒】 2箇所

No.	品名	仕様規格	単位	数量	滅菌	入替	
1	輸血セット	デイスボ <sup>®</sup> I型	個	10	○	2	
2	輸液セット	デイスボ <sup>®</sup> I型	個	10	○	2	
3	定量(小児用)輸液セット	デイスボ <sup>®</sup> I型	個	7	○	2	
4	エラストー針	デイスボ <sup>®</sup> #19	個	5	○	2	
5	翼状針	デイスボ <sup>®</sup> #18・#21・#23 各5個	組	15	○	2	
6	絆創膏	1/2インチ×12 2インチ×3(15個1組 紙絆)	組	1	○	2	
7	アメゴム	径6mm 長さ50cm	本	3		2	
8	静脈切開セット	止血鉗子 コッヘル氏 14cm SS	2 本	組	3	○	4
		止血鉗子 ヘアン氏 14cm SS	1 本				
		止血鉗子 ケー (小児用) 13cmss	1 本				
		持針器 マッチユウ 16cmss	1 本				
		メス尖刀 NO11	2 本				
		直剪刀 14cmss	1 本				
		扁平鉤 巾5mm 深さ12mm ss	1 組				
		ピンセット 有鉤13cm 無鉤13cm 各1本	2 本				
ケース(トレイ) 21×15×14cm SS	1 個						
9	マジックギブス	四肢用(小)E-13	個	1		4	
10	点滴用副子	2号	本	3		4	
11	血液型判定用紙	100 枚入	束	1		2	
12	手術用手袋	No.7・7.5 各5 双	双	10	○	2	
13	折たたみ式ガードル	アルミ製 担架取付式	個	1			
14	ブドウ糖液KN3A電解質	500ml ポリ瓶入	本	2		2	
15	ブドウ糖注射液5%	500ml ポリ瓶入	本	2		4	
16	低分子デキストランブドウ糖	500ml ガラス瓶入 4本架瓶取付	本	4		2	
17	生理食塩水	500ml ポリ瓶入	本	2		4	
18	乳酸リンゲル液	500ml ポリ瓶入	本	4		4	
19	低分子デキストランL	250ml ガラス瓶入 6本架瓶取付	本	6		2	
20	洗顔用ポリ瓶	100cc	本	3			
21	救急箱	63×43×22cmアルミ(サンコー製)	箱	1			

輸血輸液セット2号【黒】

輸血輸液セット1号と同一内容



拠点救護所用

## 緊急医薬品セット【白】

2箇所

No.	品名	仕様規格	単位	数量	滅菌	入替
1	フェノバル注	10% 1ml×10アンプル	箱	5		2
2	ソセゴン注	15ml 10アンプル	箱	5		4
3	アドナ注	0.5% 10ml×10アンプル	箱	5		2
4	ブスコパン注	2% 1ml×10アンプル	箱	5		2
5	ソルコーテフ注	100mg×5バイアル	箱	10		4
6	セファメジンα注	250mg×10バイアル	箱	5		2
7	注射用ビクシリン注	1g×10バイアル	箱	1		2
8	セフメタゾン静注	1g×10バイアル	箱	1		2
9	エホチール注	1%、1ml×50アンプル	箱	1		2
10	テラプチク注	1.5%、筋注2ml×10アンプル・静注3ml×30アンプル 各1	箱	2		2
11	ノルアドレナリン注	0.1%、1ml×10アンプル	箱	5		2
12	メイロン注	(7%)20ml×50アンプル	箱	2		2
13	プロタノールL注	(0.2mg) 1ml×50アンプル	箱	1		2
14	キシロカイン注	1% 5ml×10アンプル	本	2		2
15	サクシノン注	300mg 5バイアル	箱	1		4
16	テタノセーラ注	250 1バイアル(箱外収納要冷蔵)	本	5		2
17	沈降性破傷風トキソイド	0.5ml 10本入(箱外収納要冷蔵)	箱	2		2
18	ネオトロールEE眼軟膏	チューブ入 3g	本	20		4
19	インダシン坐剤	50mg 50個入(箱外収納要冷蔵)	箱	1		4
20	アルピニー坐薬	50mg 100個入(箱外収納要冷蔵)	箱	1		2
21	ニトロール	舌下錠 100錠入	箱	1		2
22	静脈注射針	テイスポ 30ml 針21G、23G 各50入	箱	各1	○	2
23	皮下注射	テイスポ 2.5ml 針22G 50入	箱	1	○	2
24	皮下注射	針付テイスポ 6ml 針22G 50入	箱	1	○	2
25	アメゴム	6mm径 長さ50cm	本	10		2
26	救急箱	63×43×22cmアルミ(サンコー製)	箱	1		

雑品セット【茶】

No.	品名	仕様規格	単位	数量	滅菌	入替
1	水桶 6リットル	布バケツ	個	4		
2	ポリタンク	2リットル入	個	2		
3	サーチライト	単-6個型電池別包装	個	2		電2
4	ビニールシート	1m	枚	2	○	2
5	寝袋	1人用 スリーシーズン	個	1		6
6	カンテラ	ローソク式 折りたたみ組立式	個	1		
7	タオル	白無地	枚	5	○	6
8	ペンライト	単3 2個型電池別包装	個	2		電2
9	ヒシヤク	アルミ径15cm	個	1		
10	紙コップ	200cc	個	10		4
11	眼帯	1枚入 ガーゼ付	個	50		4
12	手洗いブラシ	ナイロン毛	個	2		
13	石けん	逆性固形	個	2		6
14	ペンチ	長さ175mm	本	1		
15	ドライバー	マイナス型 150mm	本	1		
16	ポンプ	陰圧マジックキップス用	個	1		
17	サインペン	赤・黒 各1	本	2		2
18	手術衣セット	ティッシュ紙製(帽子・衣・マスク)3種組	組	5	○	6
19	救急箱	63×43×22cmアルミ(サンコー製)	箱	1		

NO	区分	品名	規格	単位	数量	備考	滅菌	入替年数
1	診 断 用 具	血圧計	メーター式ケース入	個	1			4
2		聴診器	リットマン型	個	1			4
3		体温計	平型	個	1			6
4		打診器	吉村氏	個	1			
5		ペンライト	携帯用	個	1	電池		2
6	蘇 生 用 具	手動式蘇生器	手動式 吸引器付	個	1			6
7		エアウェイ	ホーテック巢経鼻用6・7・8 各1	個	3		○	2
8		バイドブロック	大、小 各1	個	2		○	6
9		気管内チューブ	カフ付 6.5・7.0・7.5各1	個	3		○	2
10		スタイレット	大・小 各1	個	2		○	
11		喉頭鏡	マッキントッシュ 大・中・小	組	1	電池		2
12		開口器	エスマル	個	1		○	
13		舌鉗子	コラン	個	1		○	
14		舌圧子	木製滅菌 3入	個	1		○	2
15	外 科 用 具	救急外科セット	エマジン EM-100	組	2	別掲	○	
16		止血鉗子	ペアン 14cm	個	2		○	
17		外科剪刀	両鈍直、14cm	個	1		○	
18	衛 生 用 具	滅菌ガーゼ	尺角 5枚入	袋	5		○	6
19		折畳式バケツ	手洗い用	個	1			6
20		カット綿	アルミ容器入	個	1			4
21		綿花	アルミ容器入	個	1			4
22		綿棒	100入	袋	1			4
23		バンドエイド	スタンダード、ハタラIM 各10	袋	1			2
24		眼科セット	眼帯3 点眼液5ml 眼軟膏3.5g	袋	1			2
25		絆創膏	9mm×10m 10入	箱	1			2
26		創 傷 ・ 熱 傷 ・ 骨 折	包帯	5裂 9m	個	1		
27	伸縮包帯		5裂 9m	個	2			4
28	網包帯		手指、頭部用 各2	個	4			6
29	伸縮絆創膏		エラスチコン 2"	個	1			2
30	三角巾		105×105×150cm	個	2		○	6
31	止血帯		エスマル	個	1		○	2
32	アルフェンス		2号3個 10号6個	個	2		○	6
33	タオル		滅菌	個	2		○	6
34	手術手袋		滅菌 6.5・7・7.5 各1	双	15		○	2
35	シート		白ビニール 2m	枚	2		○	2
36	救急シート		保温用	枚	2			4
37	トリアージタック		相模原市仕様(ユポカーボンレス)	枚	50			
38	サインペン		赤・黒 各1	本	2			2
39	金切鉋		アルフェンス等用	本	1			

## EM-2 内容品一覧

別 1

NO	区分	品名	規格	単位	数量	備考	滅菌	入替年数
40	消毒剤	消毒用アルコール	100ml	本	1			4
41		逆性石けん	100ml	本	1			4
42		オキシフル	100ml	本	1			4
43		イソジン	250ml	本	1			4
44	鎮痛・鎮静剤	フェノバール	1ml 10A	箱	1		2	
45		ソセゴン	15mg 1ml 10A	箱	1			4
46		アトロピン	1ml 10A	箱	1		2	
47	強心剤	ニトロール	舌下 100錠	箱	1		2	
48		ソルコーテフ	100mg 5V	箱	1			4
49	止血・	アドナ	2ml 10A	箱	1		2	
50	麻酔剤	キシロカイン注	1% 20ml	箱	1		2	
51	血圧	ノルアドレナリン	1ml 10A	箱	1		2	
52	昇圧	エホチール	1ml 10A	箱	1		2	
53	剤	ボスミン	1ml 20A	箱	1		2	
54	外用剤	ソフラチュール	10枚入	袋	1		2	
55		エアゾリンD1	57g	本	1		2	
56		グリセリン液	120ml	本	2			4
57	補液剤	ブドウ糖液	500ml	本	1			4
58		生理食塩液	500ml	本	1			4
59		ラクトリンゲル	500ml	本	1			4
60	注射・輸液用具	ディスポシリンジ	2.5ml 針付	本	5		○	2
61		ディスポシリンジ	5ml 針付	本	5		○	2
62		ディスポシリンジ	10ml 針付	本	5		○	2
63		ディスポシリンジ	20ml 針付	本	5		○	2
64		ディスポ針	23G 10入	袋	1		○	2
65		カテラン針	23G 5入	袋	1		○	2
66		留置針	18G 5入	袋	1		○	2
67		留置針	20G 5入	袋	1		○	2
68		輸液セット	タコ管付 5入	袋	1		○	2
69		駆血帯	井ノ内	本	1			2
70	イルリガートル	アルミ製 伸縮式	本	1				
71	ケース	救急箱	エマジン EM-2	個	1			

NO	品名	規格	単位	数量	滅菌	入替年数
1	持針器	マッチュー 16cm	個	1		
2	止血鉗子	コッヘル有直 14.5cm	個	2		
3	止血鉗子	ペアン 無直 14.5cm	個	2		
4	止血鉗子	東大糸通し 14.5cm	個	1		
5	外科剪刀	両鈍反 14cm	個	1		
6	外科剪刀	片尖直 14cm	個	1		
7	ピンセット	有 鉤 13cm	個	2		
8	ピンセット	無 鉤 13cm	個	1		
9	消息子	18cm	個	1		
10	替刃メス	フェザーNo. 10 20枚入	箱	1		4
11	替刃メスハンドル	フェザーNo. 3	個	1		
12	針付縫合糸	HR3002S	袋	10		4
13	縫合糸	シルクブレード 3-0 40cm 10本入	袋	3		4
14	縫合針	外科強わん弾 1・3・5 各1本	袋	3		
15	ディスポ注射器	針付 10cc	本	1	2	
16	三爪筋鉤	17cm	組	1		
17	両頭鋭匙	ホルクマン 0-00	個	1		
18	有溝消息子	ローゼル氏	個	1		
19	三角巾	105×105×150cm	枚	1		6
20	手術手袋	6.5・7.0・7.5 各1	双	3	2	

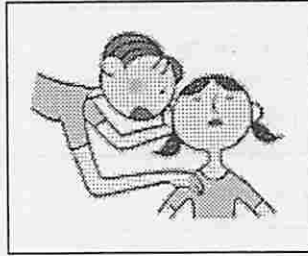
6) 応急手当の方法 (参考資料：東京衛生局「災害時の応急手当」)

1. 人が倒れていたなら

観察ポイント

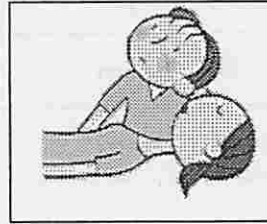
1) 意識の確認

- ①呼びかけて返事をするか
- ②話はできるか
- ③手足を動かしているか
- ④痛みに対して反応はあるか



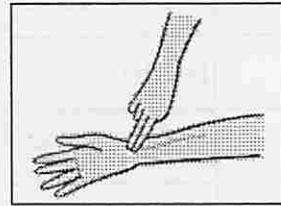
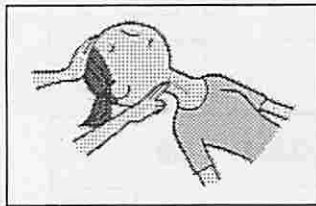
2) 呼吸の確認

- ①手のひら、または頬を口や鼻に近づけ、息があるかどうかをみる
- ②胸が上下に動いているかをみる



3) 脈の確認

- ①手首の動脈に2本の指(人差し指と中指)をあてて拍動を確認
- ②手首で確認できなければ、首筋の頸動脈で確認



実際の手当て

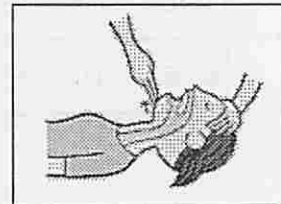
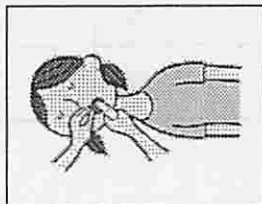
1) 意識がなかったら

①異物の除去

のどに異物が詰まるのを防ぐため、顔を横に向け指にハンカチまたはガーゼ等を巻きつけ、異物をかきだす。

②気道の確保

一方の手を額に当て、もう一方の手の人差し指と中指の2本をあご先に当て、これを持ち上げ、気道を確保する。



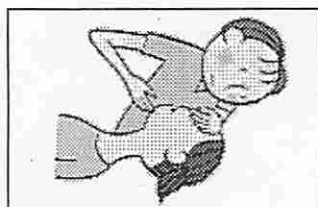
※ 注意事項

- ・ 呼びかけても応答がない時は、絶対に起こしたりむやみに揺すったりして首を動かさない。
- ・ 異物を除去する時は、指で異物を口の奥に押し込まないよう気をつける。
- ・ 気道を確保する時は、頭を無理に後ろに反らせないようにする。

2) 呼吸がなかったら—人工呼吸—

- ① 気道を確保したまま、一方の手で負傷者の鼻をつまむ。
- ② 口を大きく開く。

- ③ 負傷者の口を覆って息を吹き込む。
- ④ 1回吹き込んだ後、胸の動きと呼気を確認し、自発呼吸がなければさらに1回吹き込む。
- ⑤ 自発呼吸開始まで、大人は5秒に1回、幼児は4秒に1回、乳児は3秒に1回のリズムで繰り返す。



### 3) 脈もなかったらー心臓マッサージー

- ① 負傷者を平らな固い場所に仰向けに寝かせ、胸骨の下半分に手のひらを置き、もう一方の手を重ねる。
- ② 肘を伸ばし、胸が5cm位沈む力で体重をかけるように垂直に圧迫する。(1分間に80~100回のリズムで繰り返す)  
乳幼児の場合は、中指と薬指の2本で胸が2cm位沈む力で突くように押す。(1分間に100~120回のリズムで繰り返す)

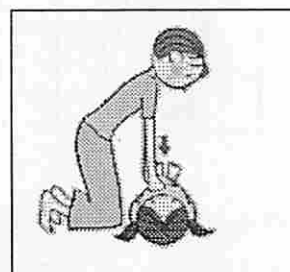
### 心配蘇生法

- ・ 人工呼吸2回、心臓マッサージ15回を繰り返す。

### 2. 骨折

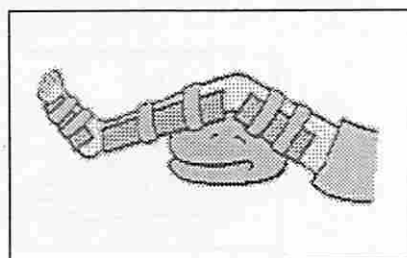
#### 骨折の見分け方

- ・ 激しい痛み、腫脹、極端な変形をともなう場合はほぼ骨折。



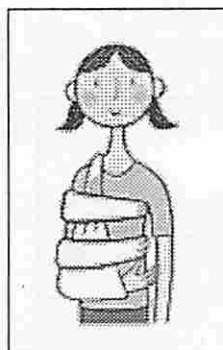
#### 脚部の骨折

- ① 衣類や靴は脱がすか切り開く。
- ② 骨折部位が動かないよう、脚の両側に関節より長い副木を当てる。
- ③ 体と副木の間にはタオル等の当て物をする。
- ④ ガムテープやタオル等で縛って固定する。
- ⑤ 骨折部位を低い位置にせず、安静を保つ。



#### 上腕部の骨折

- ① 副木を当てて骨折部位の上下を固定する。
- ② 三角巾で吊った後、さらに胸部に固定する。



#### 副木になるもの

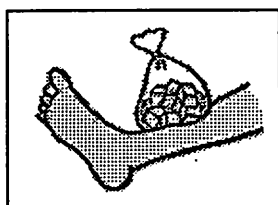
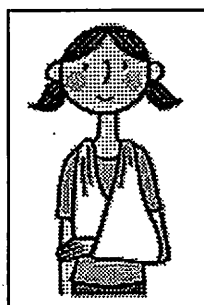
週刊誌、ダンボール、傘、杖、等

※ 注意事項

- ・ 骨折かどうか判断し難い場合は、傷口の手当をした後に副木で固定する。
- ・ 骨が露出している場合、感染のおそれがあるため不潔な手等で触れないようにする。
- ・ 副木は痛みが増すような位置ではなく、楽な位置で固定する。
- ・ 副木が傷口に直接触れるようならば、きれいな布を当ててから使用する。
- ・ 神経を傷つけるおそれがあるので、患部にはむやみに触れないようにする。

2. 打撲・ねんざ・脱臼

- ① 特に骨折や皮膚に傷がない場合は、患部に湿布薬を張る。
- ② 湿布薬で処置できない場合は、氷嚢または冷水でぬらしたガーゼやタオルを頻回に交換しながら冷やす。
- ③ ねんざ・脱臼の場合は、さらに患部の関節を三角巾や大判の布等を用いて固定する。



※ 注意事項

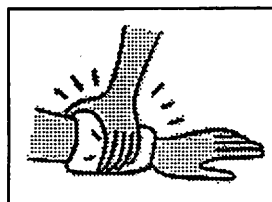
- ・ ねんざは骨折と見分けにくい場合がある。骨折かどうか判断し難い場合は骨折の応急手当を施す。
- ・ 脱臼と思われる場合は、自分で無理に戻すと神経や血管を損傷するため、絶対に行なわない。

3. 外傷

- ① 創部が汚染されていたら、きれいな水で洗い流す。
- ② 清潔なガーゼや布を当て、包帯を巻く。

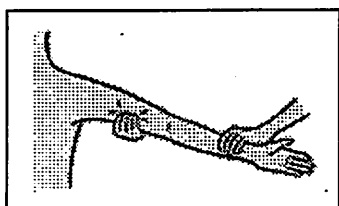
直接止血法

- ・ 清潔なガーゼ、ハンカチ、シーツ等を直接創部に当て、手のひらで圧迫する。



関節指圧止血法

- ・ 手や足などの動脈性の出血の場合に行なう。
- ・ 創部より心臓に近い動脈（脈を感じる所）を強く圧迫する。





## ※ 注意事項

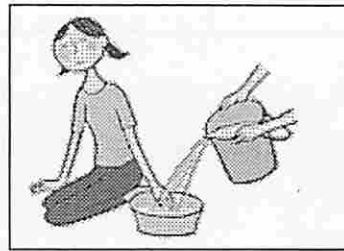
- ・ 古い釘を刺した場合、化膿したり破傷風にかかるおそれがある。すみやかに診察が必要。
- ・ ガラスが奥深く刺さると血管等を傷つけるおそれがある。抜去せずそのまま診察する。
- ・ 乳幼児は少量の出血でもショックに陥ることがある。応急処置後はすみやかに診察が必要。

## 4. やけど

- ① やけどをした場合は痛みがとれるまで清潔な流水で十分に冷ます。顔など流水で冷やしにくい場所は、水でぬらした清潔なガーゼやタオル頻回に交換し冷やす。
- ② 服を着ている部分をやけどした場合は、服の上から十分に冷やした後、服をはさみで切り取る。冷却した後、清潔なガーゼかタオル等で覆う。

## ※ 注意事項

- ・ 水泡は破らない。
- ・ 幹部に直接手を触れない。
- ・ 脱脂綿等の細かい繊維は使用しない。



## 5. 過喚起症候群

- ① ゆっくり呼吸するよう促す。
- ② 口に紙袋またはビニール袋を当てる。袋はできるだけ口と鼻を覆う大きさの袋がよい。
- ③ 袋の中に吐き出した空気をゆっくり吸い込むよう促す。長くとも約30分で正常に戻る。

## 7) 感染予防の方法

### 4-1 手洗い

#### <必要物品>

液体石けん（薬用）、速乾性手指消毒剤（ウェルパス）、ウェットティッシュ、掲示物（うがいと手

洗い・速乾性手指消毒剤使い方）

#### <実施方法>

- ・手洗いの方法やタイミングについてトイレに掲示して周知する。

#### 手洗い方法

- ・水で石けんを使って手洗いを行なうようにする。
- ・水がない場合には、速乾性手指消毒剤を使用するようにする。
- ・次のようなタイミングで行う。
  - ①調理の前
  - ②食事をする前
  - ③トイレの後
  - ④外から帰った後
- ・タオルの共有はしない。

- ・避難所のトイレに液体石けん、速乾性手指消毒剤の使用状況を確認し、必要時補充する。

- ・タオルの共有はしないように周知する。

### 4-2 うがい

#### <必要物品>

うがい薬（イソジンガーグル）、ミネラルウォーター、ディスポーザブルマスク、掲示物（うがいと手洗い・速乾性手指消毒の使い方）

#### <災害時>

- ・うがいの方法を掲示物等で周知する。

ペットボトル入りミネラルウォーターまたは、煮沸水等の清潔な水・うがい薬などでうがいをしっかり行う。

- ・うがい薬を配布し、うがいをするように指導する。

# 嘔吐物の処理の仕方

**準備** 使い捨て手袋・マスク、使い捨てられる布、ペーパータオル、ビニール袋、消毒薬（次亜塩素酸ナトリウム）、バケツ



他の人が汚れた場所に近づかないようにします。



使い捨ての手袋、マスクを着用します。



使い捨ての布やペーパータオルで嘔吐物が広がらないように外側から内側に向けてふき取ります。



使用したペーパータオル等はすぐにビニール袋に入れ封をして廃棄します。

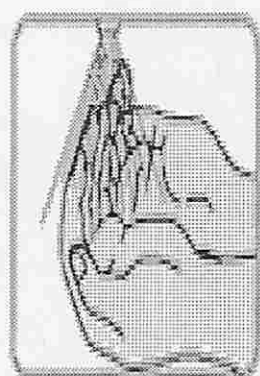


嘔吐物が付着していた床等は周囲を含めて1000ppm（0.1%）次亜塩素酸ナトリウムをしみこませたペーパータオルなどで浸すように拭きます。  
\*次亜塩素酸ナトリウムは腐食性があり、鉄などの金属はさびてしまうので、ふき取って10分程度たったら、水拭きします。

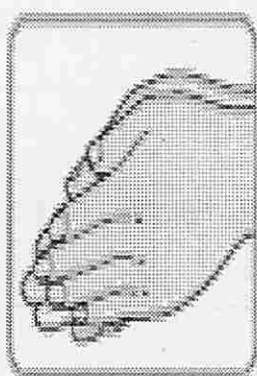


処理後は手袋をはずし手洗いをします。  
使用した手袋、マスクはビニール袋に入れ封をして廃棄します。

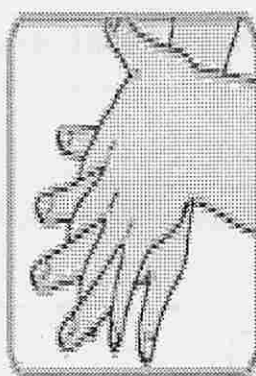
# トイレのあと 食事の前には 手を消毒しましょう



①指を立てて薬液を受ける



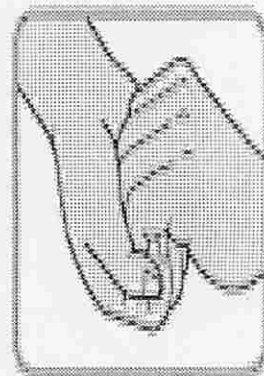
②手のひらと手のひらをこする



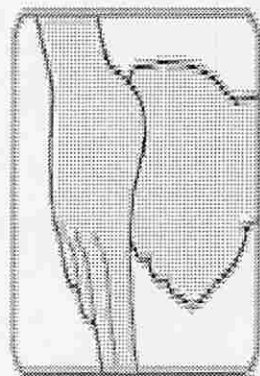
③手の甲をもう片方の手のひらでこする  
(両手)



④指を組んで両手の指の間をこする



⑤両指を曲げ指の背と手のひらをこする  
(両手)



⑥親指をもう片方の手で包みこする  
(両手)



⑦指先でもう片方の手のひらをこする  
(両手)



⑧両手首までていねいにこする



⑨乾くまでこする

相模原市保健所

# うがい薬でうがいをしましょう

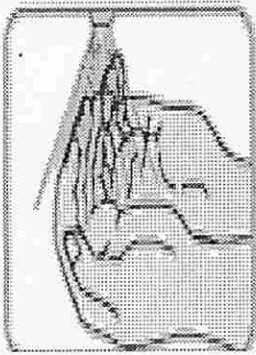
## 1回目 「ブクブク」

口の中の食べかすをとる目的で、口に含んで強くうがいをします。

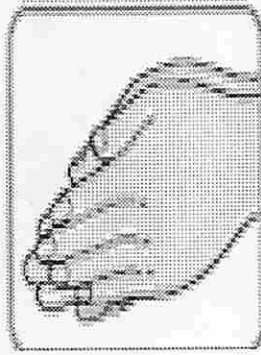
## 2回目・3回目 「ガラガラ」

上を向いてのどの奥まで届くように 15 秒くらいうがいをします。(2回行なう)

# 速乾性手指消毒剤の使い方



① 指を立てて薬液を受ける



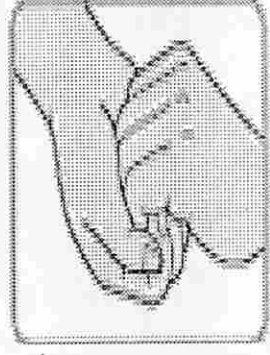
② 手のひらと手のひらをこする



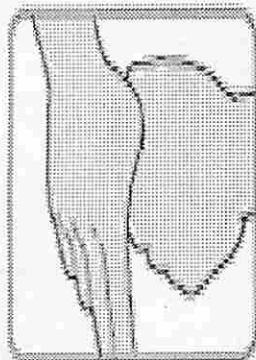
③ 手の甲をもう片方の手のひらでこする



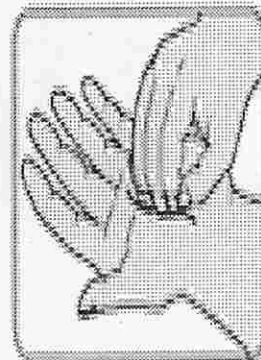
④ 指を組んで両手の指の間をこする



⑤ 両指を曲げ指の背と手のひらをこする



⑥ 親指をもう片方の手で包みこする



⑦ 指先でもう片方の手のひらをこする

(両手)



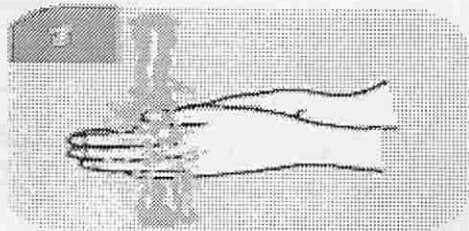
⑧ 両手首までていねいにこする



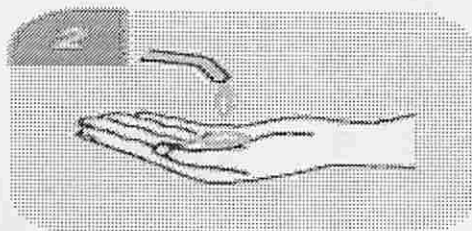
⑨ 乾くまでこする

相模原市保健所

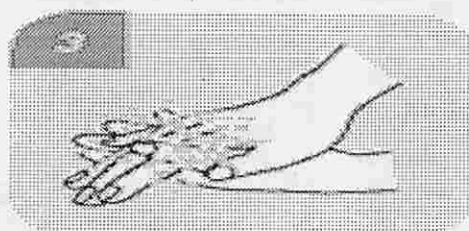
# トイレ後・食事前・外出から戻った時などには 手を洗いましょう。



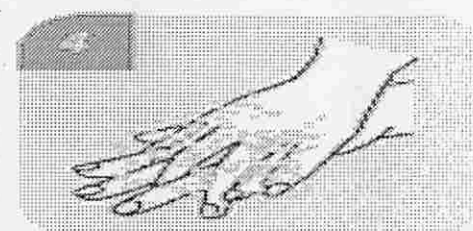
流水で洗浄する部分をぬらす



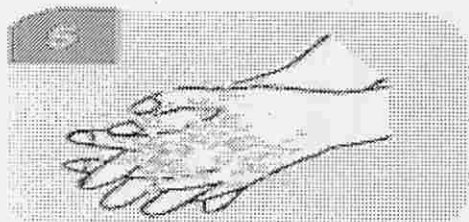
薬用石けんまたは消毒薬などを手のひらにとる



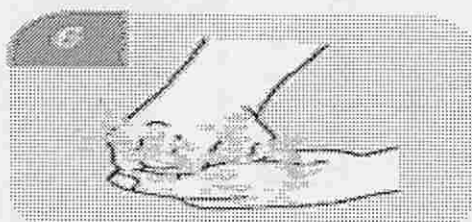
手のひらを洗う



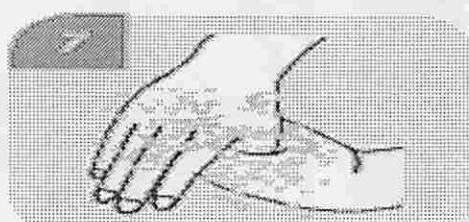
手のひらで手の甲を包むように洗う 反対の手も同様に



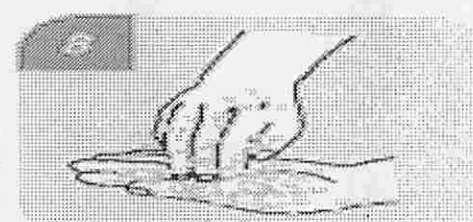
指の間もよく洗う



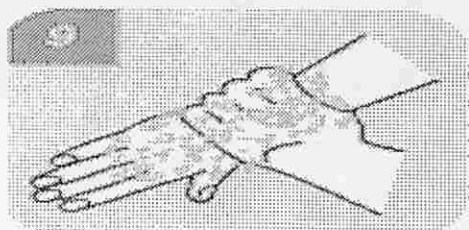
指までよく洗う



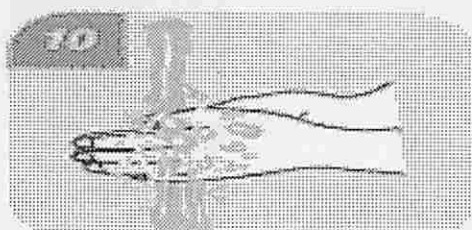
親指の周囲もよく洗う



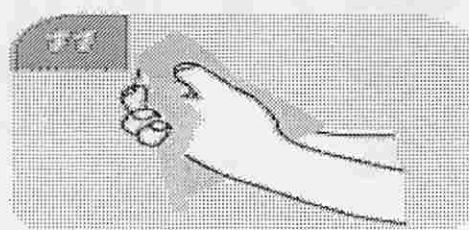
親指、つめもよく洗う



手首も洗う



流水で洗い流す



ペーパータオル等でふく

タオルの共有はしない！

相模原市保健所